

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成30年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（プールあり） 新潟市亀田総合体育館			
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	
新潟市主管課	江南区 産業振興課			
所在地	区名	江南区	住所	新潟市江南区茅野山3丁目1番13号
根拠法令	スポーツ基本法			
設置条例	新潟市体育施設条例			
施設概要	<p>竣工年月日 平成8年4月28日</p> <p>敷地面積 総合運動公園全体 106,501.93㎡（江南区文化会館敷地 約20,000㎡，農村公園分含む）</p> <p>建築面積 7,238㎡</p> <p>延床面積 9,607㎡</p> <p>構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨2階建・塔屋2階建</p> <p>主要施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○メインアリーナ（バスケットボール2面／バレーボール2面 卓球33台／バドミントン8面） ○サブアリーナ（バスケットボール1面／バレーボール2面 卓球19台／バドミントン4面） ○室内温水プール（25m×6コース・幼児用・低学年・着水プール ウォータースライダー1基） ○トレーニングルーム（トレーニング機器各種） ○ランニングコース（1周 185m） ○観覧席 固定 708席 ・会議室・ミーティングルーム・医務室等 ○屋外テニスコート（砂入れ人工芝 照明付 3面） ○武道場・屋内多目的運動場（平成27年4月1日供用開始）【別棟】 <p>構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨平屋建</p> <p>建築面積 2,803.08㎡，延床面積 2518.40㎡</p> <p>武道場（柔道場2面，剣道場2面，簡易観覧席190席）</p> <p>屋内多目的運動場（フットサル1面もしくは，テニスコート2面）</p> <p>駐車場（693台 江南区文化会館と共有），駐輪場</p> <p>総合運動公園トイレ，東屋等</p>			

施設設置目的
<p>スポーツの普及振興を図り，市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。</p>
管理・運営に関する基本理念，方針等
<p>(1) 新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき，スポーツの普及及び振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するよう管理運営を行うこと。</p> <p>(2) 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに，住民サービスの向上や平等利用を確保すること。</p> <p>(3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。</p> <p>(4) 利用者に対し，安全で快適な環境を提供すること。</p> <p>(5) 新潟市個人情報保護条例に基づき，個人情報の保護を徹底するとともに，業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。</p> <p>(6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費削減に努めること。</p> <p>(7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。</p> <p>(8) 指定管理者制度を理解し，実践すること。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	・月間ホームページ等による情報提供更新1回以上 ・施設利用者への広報誌・情報誌・チラシ等の発行 月1回以上	・週1回 ・月2回	B	kametterの継続更新など、亀田総合体育館独自の広報は評価できる。
	基準利用者数の達成	・年400,000人以上 (うちプール80,000人以上、武道場・屋内多目的運動場50,000人以上)	410,583人(うちプール80,442人、武道場・屋内多目的運動場50,267人)	A	評価指標より1万人多く目標を達成したことは高く評価できる。
	基準稼働率の達成	・アリーナ 70%以上、テニスコート50%以上(4月～10月) *自主事業含む	アリーナ85.8% テニス 45.3%	B	アリーナは目標指標より15%超えて目標を達成し高く評価できる。屋外テニスコートは人工芝張替え工事のため、利用中止及び予約受付を制限していた期間があったこと、猛暑による夏期の利用減少により目標値を達成しなかった。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで満足度 5段階中3以上が70%以上 (教室参加満足度・施設利用者満足度)	施設99.5% 教室99.3%	A	教室参加満足度、施設利用者満足度とも100%に近い水準を維持していることを高く評価。
	スポーツ教室・事業等の実施	・設置目的に合致した教室 (年間) 1,000コマ以上実施 ・教室参加者 年間 延35,000人以上	2,414コマ/年 43,892人/年	A	教室コマ数は目標指標を41%超えて目標達成。参加者数は25%超えて目標達成したことを高く評価。
	苦情・要望に関する対応	・苦情・要望は、14日以内に回答	適切	A	対応は迅速だった。館内周知の徹底が行われていたほか、区への連絡体制も確立されている。
財 務	市の収入	・施設使用料収入 年 63,000,000円以上(武道場・屋内多目的運動場含む)	65,686,865円	A	目標指標より2百万円以上増加で目標を達成したことは高く評価できる。
	管理運営経費の削減	省エネ及び環境に配慮した取り組みの実施	節電の呼びかけ エスコ事業への協力	B	節電を徹底していたほか、エスコ事業へも積極的に参加していた。
	業務の効率化	・施設利用者1人あたりのコスト600円以下(武道場・屋内多目的運動場を除く)	449円	A	目標指標より25%コストを削減させたことは高く評価できる。
業 務	他施設等の連携に関する理解	・他施設との連携会議を月1回以上開催	原則週1回館長会議を実施	B	館長会議のほか、区とのミーティングを月1回開催するなど、連携が図られている。
	人員計画の合理性妥当性	・業務基準書で定める以上の各種人員を配置	職員名簿による	B	適正に配置されていた。
	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等のメ切厳守	適切	B	適切に対応していた。
	事業計画・事業報告の適切さ	・事業計画書・事業報告書提出のメ切厳守	適切	B	適切に対応していた。
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易のもの即日。時間を要するものは1週間以内に対応改善	適切	B	改善指導なし。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・安全責任者の配置の有無 ・安全確保体制の確立の有無 ・防災訓練を年2回以上実施	管理業務マニュアル保有 消防訓練年2回実施	B	適切に実施していた。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	管理業務マニュアル保有	B	事件・事故対応の蓄積がなされているほか、連絡体制が確立されており、重大事故もなかった。
	地域連携・協力イベント等実施回数	・年1回以上	アスパークまつり 亀田まつり 避難所体験会他	A	地域の祭りへの積極的な参加のほか、避難所として、周辺住民を呼び込んでいる避難所体験会は地域連携、防災の観点から高く評価できる。
	関係法令の遵守	・コンプライアンス研修年1回以上実施	マニュアル有	B	適切に実施していた。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	B	遵守している。

人 材	配置職員条件の充足	・業務基準書で定める以上の必要な資格や経験を有する職員を配置	適切	B	適正に配置されていた。
	知識や技能の向上	・プール救助訓練を年2回以上実施 ・業務用研修を1回以上実施 ・トレーニング指導に関するスキルアップ研修を年3回以上実施	プール9回 業務用10回 トレ4回	A	目標以上の研修を行い、人材育成・技術向上に努めたことは高く評価できる。
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	適切	B	遵守している。

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成29年度達成できなかった利用者41万人を体育館内で再度目標に掲げ、引き続き個人開放バドミントン・卓球の開放時間の拡大(予約のない時間帯のメインアリーナを個人開放とする、可能な限り卓球台の追加を行う)、定員を超えた教室の増設、体育の日無料体験イベント開催など実施しました。また、お客様より多数の声をいただいていたテニスコートB・Cの人工芝張替え工事を実施し、多くのお客様に喜んでいただきました。工事期間の影響と猛暑による利用者の減少によりテニスコートの稼働率は未達成でしたが、武道場及び屋内多目的運動場の団体利用の増加により、41万人を達成することができました。現状を維持しつつ、さらに利用者が増える取り組みを行います。また、昨年度の参加者の声を反映させ、避難所体験会を夏休み期間に実施し多くの家族にご参加いただきました。家庭や自治会等で防災について考えていただく場となり、亀田総合体育館が災害時の避難所に備え有している機能を知っていただく機会ともなりました。日頃よりお客様とのコミュニケーションを密にし、日ごろの会話からご要望やご意見などをいただける体制に努め、併せて年に1回「お客様の意見を伺う会」を実施しております。今後もお客様が笑顔で、安全・安心・快適にご利用いただける施設管理運営に努めます。

所管課による総合評価(所見)

利用者について、区が指定した目標指標以上を目標に掲げ、体育館全体で取り組む姿勢を高く評価する。また、利用者増加に伴い使用料も大幅に増加させたことも評価できる。そのほか教室の充実や利用者目線で新しいイベントを開催するなど、利用者の定着に繋がる取り組みが多い。職員研修も多く行っており、ソフトサービスの充実も図られている。

また、避難所体験会は子どもも参加しやすい時期に設定したこと、より参加型のイベント内容になったことで参加者も充実した体験ができていた。公共施設の管理者として安心安全に配慮した取り組みは、管理運営能力が十分発揮されていたと評価できる。

今後も安全安心の確保のほか、利用者に親しまれる施設運営を期待する。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成30年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（無人） 新潟市亀田運動広場（ふれあいドーム・少年野球場）			
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	
新潟市主管課	江南区 産業振興課			
所在地	区名	江南区	住所	新潟市江南区亀田緑町1丁目810番地3ほか
根拠法令	スポーツ基本法			
設置条例	新潟市体育施設条例			
施設概要	亀田運動広場			
	敷地面積	亀田運動広場全体 11,678.03㎡ 亀田運動広場駐車場 1,312.34㎡		
	(ふれあいドーム)			
	竣工年月日	平成13年5月1日		
	敷地面積	ふれあいドーム分 997.87㎡		
	建築面積	984㎡		
	構造	鉄骨造酸化チタン膜葺1階建 砂入れ人工芝 照明付		
	主要施設	ふれあいドーム（ゲートボールコート2面/テニスコート1面） 物置・トイレ・駐車場		
	(亀田少年野球場)			
	敷地面積	11,201㎡		
主要施設	少年野球場（クレー） 外野部分一部 ゲートボールコート 倉庫 トイレ 駐車スペース			

施設設置目的	
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
<p>(1) 新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及及び振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するよう管理運営を行うこと。保すること。</p> <p>(3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。</p> <p>(4) 利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。</p> <p>(5) 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。</p> <p>(6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費削減に努めること。</p> <p>(7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。</p> <p>(8) 指定管理者制度を理解し、実践すること。</p>	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	・年 18,000人以上(2施設合計)	16,527人	C	1件あたりの利用者数が多いフットサル等団体利用の減少のほか、猛暑による利用減少が影響。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで満足度 5段階中3以上が60%以上	100%	A	利用者の満足度100%を達成したことは高く評価できる。
	苦情・要望に関する対応	・苦情・要望は、14日以内に回答	適切	B	適切に対応していた。

財務	市の収入	・施設使用料収入 年 1,600,000円以上 (ふれあいドーム)	1,712,550円	B	目標を達成(7%増)している。
	業務の効率化	・施設利用者1人あたりのコスト70円以下	60円	A	目標指標より16%コストを削減させたことは高く評価できる。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	B	遵守している。
業 務	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の〆切厳守	適切	B	適切に対応していた。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	適切	B	事件・事故対応の蓄積がなされているほか、連絡体制が確立されており、重大事故もなかった。
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易のもの即日。時間を要するものは1週間以内に対応改善	適切	B	改善指導なし。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	B	遵守している。
人 材	配置職員条件の充足	・業務基準書で定める以上の必要な資格や経験を有する職員を配置	適切	B	適正に配置されていた。
	知識や技能の向上	職員研修を年1回以上実施	1回	B	適正に実施していた。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切	B	遵守している。

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

安価で天候に左右されずに利用できる施設として、テニスだけでなく、ストライダーなどの新たな利用も増えてきました。猛暑の影響や人工芝経年劣化によるテニスコートラインの見えづらさなども見られますが、張替え工事の予算要求も行いつつ、ライン補修を定期的に行うとともに、ホームページや新たにSNSでの情報発信を積極的に行い、利用者の拡大を図ります。また、今後も江南区ゲートボール愛好会並びに亀田少年野球クラブと連携を図り、施設の環境整備・美化に努めます。さらに、非常時に速やかに対応ができるように年2回の消防訓練と、AED使用の講習も行いました。引き続き、お客様に安全・安心・快適にご利用いただけるよう施設管理を行います。

所管課による総合評価(所見)

天候に左右されず屋外スポーツも利用できる場としてふれあいドームが浸透し、新たな利用が増えていることを評価する。今後とも広報に力を入れて新規の利用者獲得、利用者の定着を期待したい。
 ラインの張り替え等、所管課へ情報共有や要求を必要に応じて行う中、利用者の要望に迅速に対応しており、対応の迅速さや地元団体との連携による施設の環境整備は満足度の高さにも繋がっている。地元団体とも良い連携が取れていることも高く評価できる。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成30年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（無人・無料） かわね公園多目的グラウンド		
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
新潟市主管課	江南区 産業振興課		
所在地	区名	江南区	住所
根拠法令	都市公園法		
設置条例	新潟市都市公園条例		
施設概要	敷地面積	15,292㎡	主要施設
			野球場（クレー） ナイター照明付 物置 *ナイター施設有料

施設設置目的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1) 新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及及び振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するよう管理運営を行うこと。</p> <p>(2) 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。</p> <p>(3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。</p> <p>(4) 利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。</p> <p>(5) 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。</p> <p>(6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費削減に努めること。</p> <p>(7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。</p> <p>(8) 指定管理者制度を理解し、実践すること。</p>

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	・年間 12,000人以上	11,472人	C	平成29年度から整備用具倉庫の鍵の貸出を開始し、利用者数の集計を申請書から報告書の人数に変更した。鍵の貸出の定着により無断キャンセルの防止が徹底されたことは評価できるが、人数は減少に繋がった。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで満足度 5段階中3以上が60%以上	100%	A	利用者の満足度100%を達成したことは高く評価できる。
	苦情・要望に関する対応	・苦情・要望は、14日以内に回答	適切	B	適切に対応していた。
財務	業務の効率化	・施設利用者1人あたりのコスト180円以下	238円	C	目標指数を大きく上回った。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項、指標の遵守	適切	B	遵守している。
	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーン報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の不切厳守	適切	B	適切に対応していた。

業 務	事件・事故発生時の対応の適切さ	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	適切	B	事件・事故対応の蓄積がなされているほか、連絡体制が確立されており、重大事故もなかった。
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易のもの即日。時間を要するものは1週間以内に対応改善	適切	B	改善指導なし。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・無人施設における巡回安全責任者の選定及び不在時の代理人の選定。 ・連絡体制、連絡方法マニュアルの整備	緊急連絡網保有	B	適宜亀田総合体育館職員が巡回し、安全体制が確立されている。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	B	遵守している。
人 材	配置職員条件の充足	・業務基準書で定める以上の必要な資格や経験を有する職員を配置	適切	B	適正に配置されていた。
	知識や技能の向上	職員研修を年1回以上実施	1回	B	適正に実施していた。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切	B	遵守している。

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

昨年度より行ってきた整備道具倉庫の鍵の貸出が定着してきており、未使用時のキャンセルの連絡も徹底されつつあります。利用の状況も、直接報告書に確認できるようになり、隣接時のボールの飛び出しについても速やかに報告をいただける体制となりました。定期的にご利用いただく団体とAED使用講習会を行い、非常時の対応を確認しました。今後は、空き情報などのHPでの発信、野球教室の実施などにより、利用人数の増加を図ります。

所管課による総合評価(所見)

整備道具倉庫の鍵の貸出を体育館の窓口で開始したことで、グラウンド利用者に直接使用後の状況を確認できるようになった。ボールの飛び出しの有無等、無人施設で判断しにくかった部分を解消したところを評価する。利用者満足度100%を維持していることも高く評価できる。施設の周知やイベントにも力を入れてもらい、新規利用者獲得に向けて今後も取り組むことを期待する。